

委員会業務報告

組織運営委員会

※理事委員：岡村、小田切、初谷、三木、山岡

1 委員会開催状況

第4回委員会の開催 2019年1月28日（月）

（対面による委員会）

議題

[審議事項]

- 1 「災害対応等委員会」（仮称）に係る答申案について
 - （1）答申案及び答申日程の検討
 - （2）災害対応等委員会の組織編成案の検討
- 2 会員管理システムの業務委託について
 - （1）契約締結候補事業者の選定案の確認
 - （2）候補事業者提示の契約案の検討
- 3 2019年度事業計画案及び予算案について：実施する収支改善策を含む
 - （1）来年度予算編成方針と各委員会の業務報告の確認
 - （2）2019年度事業計画案及び予算案の検討
- 4 広報業務の検討会について
 - （1）広報検討会（仮称）の構成（案）の検討
 - （2）2018年度末に予定の「会員へのお知らせ」（案）の検討
- 5 その他
 - （1）監事問題 等

[報告事項]

- 1 前回委員会以降の電子メールによる理事会の審議結果と対応について
 - （1）事務局長選任 承認
 - （2）経理事務等に関する提言等の業務委託契約案 承認
 - （3）学会賞細則施行規程案（付議予定）
 - （4）旅費規程案（付議予定）
- 2 事務局体制整備について
 - （1）事務局体制整備進捗状況
 - （2）経理事務等に関する提言等の委託業務の進捗状況（ミーティング結果）
- 3 20周年記念事業の進捗状況
- 4 年次大会の準備状況
- 5 次回委員会日程について

第5回 2019年3月14日（水）～3月18日（日）

（電子メールによる委員会決議）

議題

- （1）第1号議案 日本NPO学会 パートタイム労働者就業規則（案）の承認
 - ・添付資料1 日本NPO学会 パートタイム労働者就業規則（案）
 - （2）第2号議案 日本NPO学会 パートタイム労働者在宅勤務規程（案）の承認
 - ・添付資料2 日本NPO学会 パートタイム労働者在宅勤務規程（案）
 - （3）第3号議案 労働条件通知書兼雇用契約書（案）の承認
 - ・添付資料3 労働条件通知書兼雇用契約書（案）
- ▶以上第1～3号議案のすべてを承認した。

第6回 2019年5月2日（水）～5月6日（日）

（電子メールによる委員会決議）

議題

- （1）第1号議案 『ノンプロフィット・レビュー』（The Nonprofit Review）の編集・組版・校正・印刷・製本・発送関連業務委託契約書（案）の承認
 - ・資料1 6社の見積もり額の比較
 - ・資料2 レタープレス社の見積書
 - ・資料3 リタープレス社から提示された契約書案
- ▶第1号議案に対して、見積書の金額を基準として契約することについて承認した。
- ただし、資料3の契約書案についての修文提案、契約で予定している委託業務についての付帯意見、その他条項の文言に係る確認事項の指摘がなされた。

第7回 2019年8月9日（金）

（対面による委員会）

[審議事項]

- 1 第1号議案 次回理事会（8月26日）付議予定議案について
 - （1）学会事務局の整備及び会員システムの稼働について
 - ・資料 第1回組織運営委員会 準備表
 - ・資料1 「学会事務局移転及び会員システム稼働について」（学会事務局作成）
 - ▶理事会報告事項とする。
 - （2）学会誌の契約について
 - ・資料2 「『ノンプロフィット・レビュー』（The Nonprofit Review）の編集・組版・校正・製本関連業務委託契約書（案）」（学会事務局作成）
 - ・資料3 「同上契約書（案）について」前回理事会を踏まえた確認のための補足資料
 - ▶議案とする契約書案を修正して理事会審議事項とする。
 - （3）スタディグループ活動助成金募集要領について
 - ・資料4 「2019年度 スタディグループ活動助成金募集要領」

- ▶応募がなく、締切の延長を検討しており、理事会までに助成金の決定案が得られない場合、報告事項とし、後日の電子メール理事会で助成金決定案の承認を求める。

(4) 大会運営規程のあり方について

- ・資料5 「大会運営のあり方について」
- ・資料6 「年次大会事務局運営にかかるマニュアル整備について」(学会事務局作成)
- ・資料7 「第22回年次大会スケジュール」(イメージ、学会事務局作成)
 - ▶今後、「大会運営のあり方」と「第22回大会について」は分けて議論する。
 - ▶次回理事会で「第22回年次大会(駒澤大学)実行委員会の設置について」を付議。実行委員会事務局員(有償)については、実行委員とは別に雇用する。現在委嘱を検討中の実行委員候補者を事務局員に充てる場合は、当該候補者を実行委員に委嘱しない。実行委員長は事務局員(有償)を兼ねることはできないものとする。実行委員の委嘱及び事務局員の雇用を含め、実行委員会の設置案について、理事会審議項目とする。
 - ▶「大会運営のあり方」については、事業計画に定めるとおり、「③企画業務と実行業務との間の適切な分担を含め、実行委員会の業務の軽減を図りつつ、企画の水準を向上させ、事業の発展を目指す」ために必要な組織的な対応を含め、検討案を作成する。左の検討は、次々回・第23回大会の開催校選定に間に合うよう、大会運営委員会と組織運営委員会の調整により2019年内に成案を得るよう努める。また、検討案の作成に当たっては、学術研究委員会および編集委員会の意見をよく聴取する(次回理事会以降検討開始)。

(5) その他理事からの提案案件について

(5-1) 会員獲得のための広報、勧誘活動、そのための資料作り

- ▶広報検討部会(事務局長)から中間報告を会長に提出し、会長の意見を付して理事会報告事項とする。

(5-2) 広報部会による会員とのコミュニケーション手段の構築

(5-3) 次期理事選出についての手続き改正

(5-4) 学会賞優秀発表賞について

(5-5) 次年度大会での企画とロジの分離

2 組織運営委員会の所管検討課題について

(1) 選挙関係規程の整備について

- ・資料8 選挙関係規程の整備について
 - ▶資料8「選挙関係規程の整備について」は、委員会報告に際し報告資料とする。

(2) 会員からの指摘案件対応(ハラスメント等)について

(3) その他(理事からの指摘事項など)

(3-1) 特設委員会の人選について

- ▶次期の理事改選後の常設委員会の委員人選に際し、特設委員会と常設委員会を兼務する理事が特定の常設委員会委員に偏らないよう配慮を要することを申し送る。

[報告事項]

1 広報検討部会について

- 2 経理事務
- 3 その他

2 業務達成状況

- ・2019 年 1 月の理事会で報告した業務達成状況の時点修正、および、これらの課題についての 2019 年度の予定業務は、表 1 のとおり。

表 1

実施課題・検討課題 ¹	業務達成状況 (2019 年 8 月まで)	2019 年度内予定業務
(1) 中西印刷への外注問題 (事務局整備含む)	①事務局整備（移行関係）の推進を図った。 ②経理事務等に関する提言に係る業務委託の進捗を確認（マニュアル整備等）し、提案を確認した。 ③会員管理システム整備に係る検討を継続した。	①会員システムの稼働に向けて、必要な調整に関わる。
(2) 学会賞細則案作成	①規程案の調整、修文をおえ、電子メール理事会に付議し、承認された。 ②学会賞細則、同施行規程の会員への周知を図った。	①学会賞選考委員会から規程案等に関して運用上の提案等があれば、随時必要な対応に努める。
(3) ハラスメント・研究倫理ガイドライン	①第 4 回委員会で、ガイドライン骨子案について引き続き検討した。	①第 8 回委員会以降、検討を深め、ガイドライン案の検討を急ぐ。
(4) 名簿管理体制、入会勧誘	①第 4 回委員会で、会員管理システムに係る事業者の合い見積もり結果を踏まえて導入案を検討した。	①執行部からの要請に対し、随時、必要な検討を行う。
(5) 災害対応委員会（仮称）設置の検討	①第 4 回委員会で答申案を確定した。 ②その後、会長に答申した。 ③災害対応等委員会が設置された。	
(6) 選挙手続き等の検討 ▶会長・副会長互選手続き	①第 4 回委員会で検討を開始した。	①第 8 回委員会以降、検討を深め、2019 年内に成案を

¹ 表 1「実施課題・検討課題」は、2018 年 8 月の第 1 回理事会の「資料 5 委員会の想定される課題」のとおり。

▶理事候補者選挙の所属等の情報提供・開票結果の請求による本人への公開	②第7回委員会で検討を継続。	得る。
注記 1) 組織整備と財政立て直し	①第4回委員会で来年度の事業計画、予算案の議題において総合的に検討した。	①大会運営のあり方について組織運営の観点から検討し、2019 年内に成案を得る。
注記 2) 監事任期問題	①監事の補充及び任期満了に向けて必要な対応を検討し実施した。	
注記 3) 他に、法人格問題を展望	・未着手	①当面、特に予定なし。

3 2019 年度後半の委員会の予定

(1) 委員会の開催予定

検討課題や想定議題数から見て、年度内（年内）に少なくとも2回（第8回：10～11月、第9回：12～1月）程度必要である。

第8回 2019 年 10～11 月（対面・予定）

議題

[審議事項]

- 1 会員システムの稼働と会員への周知について
- 2 大会運営のあり方について
- 3 選挙手続等の検討について
- 4 ハラスメント・研究倫理ガイドライン（仮称）について
- 5 その他

[報告事項]

- 1 （随時対応）
- 2 次回委員会日程について

第9回以降は追って調整。

以上

選挙関係規程の整備について

1 経緯

(1) 正副会長互選手続きについて

①会則 第16条の2(選任等)では、

「 3 会長、副会長及び常務理事は理事会の互選により選定する。」と定めている。

②「理事候補者選挙の手続きに関する細則」の補足説明によれば、

「1.細則制定の方針

⑦会則により新理事による会長・副会長互選は理事会で行うので、選挙管理委員会
は関与しない。」としている。

③2018年6～7月の第10期理事会における正副会長選定の際の問題点

・選定に係る議事進行の担当者(適任者)

・ウェブ投票で会長互選後、副会長の互選について、過半数に満たないことから2回投票
し、かつ大阪北部地震も理由とされ、会長互選から副会長互選が2週間以上遅れた。

⇒ 互選の実施手続きを明確化し、執行部不確定による会務の停滞を避けるため、迅速に互
選を実施することの要請。

(2) 理事候補者選挙の手続きに関する細則の運用について

①正会員からの要望により、

・選挙人に対する情報提供として、理事候補推薦者名簿に、専門分野等のプロフィール情
報の追加記載は如何。

②理事からの要望により、

・正会員による理事候補者推薦に当たり、何らかの属性による区分や枠の設定如何。

2 課題

(1) については、理事候補者選挙手続き細則とは別に、成文化した手続き規程が必要。

なお、仮にプロフィール等を記載する場合、本人了解手続きなど個人情報保護の観
点から、必要な対応の検討要。

(2) については、選挙管理委員会の組織化までに、現行細則の運用上の対応等について
要否を判断(細則改正や新規程制定の場合は、理事会審議事項)。

3 対応

・(1)・(2)共に、早期に検討し、11月中の成案化を想定。

4 検討スケジュール

・2019年9～10月、組織運営委員会内で原案作成。

・(1)については、2019年11月以降メール理事会、または12月頃に対面理事会に付議。